

文部科学省における地域イノベーション創出に向けた取組

文部科学省では、平成14年度から「知的クラスター創成事業」等を実施し、新たな技術シーズの創出や産学官連携体制の構築など、地域における科学技術のインフラ整備に取り組んできました。

平成23年度からは、産学官連携施策等を通じて地域が主体的にイノベーションを創出するためのシステム整備を目的とした「イノベーションシステム整備事業」において、「地域イノベーション戦略支援プログラム」を新たに実施することとしました。このプログラムの実施にあたっては、地域において培ってきた科学技術のインフラを活用して、これまでのクラスター形成活動等の成果を着実に発展させていくとともに、地域イノベーションの創出に向けた主体的かつ優れた構想を持つ地域（地域イノベーション戦略推進地域（P3参照））に対して、関係府省の施策を総動員して支援することとしています。

イノベーションシステム整備事業

目的 産学官連携のための大学等の機能強化、地域における産学官共同研究、地域の大学間ネットワークの形成、先端的な融合領域における研究開発拠点形成等を通じて、地域が主体的に実施するイノベーション創出のためのシステム整備を図る。

◆ 地域イノベーション戦略支援プログラム

※関係府省が共同で選定した「地域イノベーション戦略推進地域」に対し、文部科学省では知的財産の形成や人材育成（ソフト・ヒューマン）を重視した支援を実施

◆ 大学等産学官連携自立化促進プログラム

※個々の大学等の産学官連携体制整備に対する支援を実施

◆ 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム

※先端融合領域における研究開発拠点の形成に対する支援を実施

地域における産学官の効果的なイノベーションシステムの構築

